

子供の元気は校区の力、地域の力 ～育てよう地域の輪・話・和～

奈良県奈良市

■ 活動名

二名中学校校区地域教育協議会

■ 関係する学校

二名中学校・二名小学校・青和小学校・
二名幼稚園・青和幼稚園

活動区分	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
学校支援 地域本部	16人	100人	20年度	有
基本データ	放課後 子供教室	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
コミュニティ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

本校区の地域教育協議会は、平成20年に組織し6年目となる。子供は地域の宝であり、子供が育てば地域は育つを目的に、地域のつながり、コミュニケーションを大切に活動している。

毎週火曜日夕刻から、会長とコーディネーターが集いスマイリーと名付けられたボランティアルームを活動拠点として、校区の情報交換や事業の反省、これからの活動計画の確認など、和気あいあいとした雰囲気の中話し合いを行っている。

主な取組として、地元の渋柿を利用し、地域の活性化をめざした「柿プロジェクト」、校区の安全安心な町づくりのための「挨拶・声掛けを大切にしたい見守り活動」、中学生の学習を支援するための「寺子屋活動・宿題お助け隊」、学校園の環境整備や行事支援、図書館支援など多岐にわたりボランティア(保護者・PTA OB・地域住民・卒業生)の支援を得て活動している。

■ 特徴

【特徴的な活動内容】

★「柿プロジェクト事業」

昔ながらの奈良の原風景である大和のつるし柿の再現として、子供たちに学びと体験の場を提供し、地域住民と一体となった中学校区の事業として展開している。

「しぶ柿を知る」学習、つるし柿づくり、つるし柿を利用したクッキーの商品開発、染め体験、園児による柿の木の植栽など、幼稚園から中学校まで見通した取組をめざしている。

★「寺子屋プロジェクト事業」

中学校の学習を支援する取組として、月曜日の放課後に中学1年数学の寺子屋を実施している。また、夏休みと冬休みの長期休業期間に、全学年を対象とする宿題助け隊を実施している。いずれも、地域教育協議会の直轄事業として、運営の全てをコーディネーターが行い、学習講師は地域ボランティアが担っている。

【実施に当たっての工夫】

コーディネーターと学校が顔の見える関係づくりが一番であることから、コーディネーターが日常的に学校に出向き、連絡を密にとりながら、学校が必要とする支援をボランティアに要請している。

教職員に対する事業の意義を理解してもらうために、PTA総会や会議に参加し、活動や支援の様子を詳しく伝えている。

一年間の取組をまとめた、活動報告書を作成し、校区内の保護者や地域に積極的に情報発信している。

■ 事業を実施して

活動を通して、学習活動や環境整備、見守り活動など学校を支援する取組内容が充実してきた。さらに、学校支援する活動に対して、地域住民の理解が深まり、取組も定着してきている。また、参加された地域住民同士の挨拶も増え、様々な会話が交わされるようになってともに、活動に参加する子供たちに意欲や輝きが見られるようになってきた。

■ その他

毎年、先進地から学ぶために、コーディネーターによる県外研修を実施している。防災教育など先進地との交流により、自らの活動の見直しと、新たな活動に生かしている。(昨年度の先進地視察を受け、中学校にかまどベンチを設置した。)



コーディネーター会議・学習支援



柿プロジェクト・かまどベンチ

■ 参考URL

<http://www.naracity.ed.jp/jhs02/index.cfm/6,0,12,200,html>